

第5回 ASQN(Asia Software Quality Network)カンファレンス

(一財)日本科学技術連盟 SQiP 国際委員会

1.ASQN カンファレンスがマレーシアのクアラルンプールで開催されました

ASQN カンファレンスが 2017 年 8 月 1 日(火)・2 日(水)にクアラルンプールで開催されました。



[ペトロナスツインタワーと KLCC 会場]

ASQN とは、ソフトウェア品質が課題となるなか、ソフトウェア品質向上の事例や研究などを共有し、グローバルに発信していくことを目的とした、アジア各国間のネットワークコミュニティです。活動としては、ソフトウェア品質に関連する研究や経験事例の共有を ASQN セッションとして年に 1 回開催しています。現在、中国、マレーシア、韓国、フィリピン、タイ、シンガポール、ベトナム、日本などアジア各国のソフトウェア関連団体が、参加および参加検討中の状況です。

今回の会場は、クアラルンプールの名所であるペトロナスツインタワーの間近、クアラルンプール・コンベンションセンター(KLCC)です。今回の ASQN カンファレンスは第 10 回 Software Testing Conference (SOFTEC) Asia 2017 と併設開催されました。SOFTEC Asia 全体の参加者は約 500 名で、SOFTEC Asia を主催する MSTB(Malaysia Software Testing Board)は ASQN のメンバーです。オープニングでは MSTB 代表の Mastura さんから「AI, IoT, Blockchain 社会を変革する技術において、ソフトウェア品質がより重要」というメッセージがありました。



[SOFTEC メイン会場の様子]

2. ASQN カンファレンス概要

8/1(火)・2(水)のASQNカンファレンスはKLCCの会場で、約30名の参加者で開催されました。今回はアジア他国のバケーションシーズンと重なったこともあり、発表国はマレーシアと日本の2カ国です。日本からは富士通研究所の菊池さん、マレーシアからはMSTBのAmirさん、Herman Md Tahirさん、Zuliha M Yahyaさんが発表を行いました。



[ASQN カンファレンス会場に集まる参加者]

<ASQN カンファレンススケジュール>

8/1 (火)

時間	発表タイトルと発表者
14:00-14:50	“Metrics Extraction and Evaluation in Enterprise Software Development using OSS” , 菊池慎司(富士通研究所)
14:50-15:30	“Quality First. Now That Software is Everywhere & Nowhere” , Amir J Sidek (Malaysia Software Testing Board)

8/2 (水)

時間	発表タイトルと発表者
14:00-14:50	“Certifying Software to intimation Standards” , Herman Md Tahir & Zuliha M Yahya (Malaysia Software Testing Board)

初日の最初は菊池さんの発表です。タイトルは“Metrics Extraction and Evaluation in Enterprise Software Development using OSS”でOpen Source Software(OSS)を利用したエンタープライズソフトウェアの品質メトリクスに関する研究発表です。エンタープライズソフトウェアでOSSはよく使われているがOSSを使うと品質が下がる可能性があるという課題に対して、新たに品質管理のメトリクスを定義しその有効性を確認したという取り組みです。ソフトウェア開発の現場にすぐにでも適用できる実用的な研究です。会場から質問も、発表内容を理解した非常に有益な質問が多く出ました。例えば、質問で「メトリクスは要件定義も重要と考えるが、要件との関係はどうなっているのか？」や、「問題の原因究明には、石川氏の特性要因図など何か方法を使っているのか？」などがあり、質疑応答も活発に行われました。



[発表を行う菊池氏]

次にマレーシアの Amir J Sidek 氏の発表で、タイトルは“Quality First!”です。Malaysia Software Testing Hub (MSTH) の事例をもとに、マレーシアにおけるソフトウェア品質の課題と取り組みを発表しました。MSTH とはソフトウェア品質向上を目的にした活動で、その能力向上を Q-Capability という名称で、また、研究開発を Q-Lab、産業界との連携を Q-Industry、情報発信を Q-Portal としての取り組みを紹介しました。Sidek 氏は、「マレーシアはソフトウェア品質に関して、グローバルプレーヤーの一つになることを目指している。」と述べ、今後も積極的な活動を展開が期待されます。SOFTEC Asia が始まった 10 年前は、マレーシアではソフトウェア品質はあまり注目されていない状況でした。しかし、この 10 年でグローバル企業のソフトウェアテストセンターがマレーシアに次々と設立され、ソフトウェア品質の課題が認知され重要な位置付けとなりました。



[発表を行う Amir J Sidek 氏]

2日目は、マレーシアの Zuliha M Yahya 氏と Herman Md Tahir 氏の発表で、タイトルは“Certifying Software to intimation Standards”です。お二人からは、QS 認証を通じて、製品品質を維持するという内容や国際基準について、ソフトウェアの要件はどこで指定されているか、規格とは、材料、製品、プロセス、サービスが目的に沿ったものであることを確実にするために一貫して使用できる要件、仕様、ガイドライン、特性を提供する文書であるなどの説明や紹介がありました。



[発表を行う Zuliha M Yahya 氏]



[発表を行う Herman Md Tahir 氏]

今回の ASQN カンファレンスは、発表者だけでなく参加者の品質に関する知識や課題意識があり、非常に内容の濃いカンファレンスとなりました。

3. 次回 ASQN カンファレンス

次回 ASQN カンファレンスは、2018 年に開催の方向で、場所と時期をメンバー各国間で現在調整中です。決まり次第、またみなさまにご連絡します。